

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

作業サポート「DPF 再生」/UD トラックス

注意事項/必ずお読みください

- ●本書は日立ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例 について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- ●実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項を ご参照のうえ、作業を行ってください。
- ●自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない 場合があります。

1.UD トラックス診断ソフトの作業サポート「DPF 再生」の操作手順

【作業サポート「DPF 再生」の使用にあたっての注意事項】

① DPF 再生は車両状態により 30 分から 60 分ほどかかります。

②換気が十分に行える安全な場所に車両を停止させて、完全暖機してから実行してください。

③DPF 再生中は排気管周りが高温になります。排気管回りに可燃物が無いか確認してください。

④シフトレバーがニュートラルであることを確認してください。(AT 車は P レンジ)

⑤パーキングブレーキをかけてください。

⑥アイドリングストップ装着車はアイドリングストップスイッチを OFF(解除)してください。

⑦PTO 装着車は PTO の作動を停止させてください。

【手順 01:HDM-10000 の車両への接続から特殊機能の起動まで】

①HDM-10000を車両側診断コネクターに接続してください。HDM-10000が起動します。

②車両側キースイッチを ON にしてください。

③HDM-10000 メニュー内の診断を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

日立Astemoアフターマーケットジャパン株式会社

【手順 02:メーカー選択から UD トラックス診断ソフトのメインメニューの表示まで】

①メーカー選択が表示されます。画面の右側の一覧で「国産トラック」を選択し、次に画面の左側の一覧で

「UD トラックス」を選択して ENTER キーを押してください。

14:11 OS	: √2.10 Batt: 24.26 カー選択	V	14:11	OS ヽ メーカ	√2.10 一選択	Batt: 24.30 V
国産乗用車	いすゞ		国産乗用車		いすゞ	
輸入車	日野		輸入車		日野	
国産トラック	三菱ふそう		国産トラック		三菱ふそう	
OBDII	UDトラックス		OBD I I		UDトラックス	
ENTER:選打	R EXIT:戻る			ENTER:選択	EXIT:戻る	

②UD トラックス診断ソフトが起動し「車型」が表示されます。該当する車型を選択して ENTER キーを押してください。

14:11	UD v2.93	Batt: 24.29 V	13:50	UD v2.93	Batt: 24.46 V
				車型	
1			トラック		
	UD トラックス診断ソフト		バス		
	2. 93				
	Nor 20 2024				
	Mar 29 2024				
				ENTER: 選択 EAII: 戻る	

③「車種」で該当する車両名を選択して ENTER キーを押し、次に表示される「排ガス記号」で該当する排ガス記号を

選択して ENTE	R キーを押してください	۱ _°				
14:12	UD v2.93 車名	Batt: 24.28 V	14:12	UC 排力) v2.93 ブス記号	Batt: 24.29 V
CONDOR, CONDORZ (LK, PK))		SKG-, TKG-			
CONDOR (PW)			PB-, PK-, BDG-			
CONDOR, CONDORZ (MK)						
CONDOR(キャパシタハイ	(ブリッド)					
CONDOR (CNG)						
CONDOR						
CONDOR (1SUZU)						
	ENTER 選択 EXIT:戻る			ENTER 選打	沢 EXIT:戻る	

④「エンジン型式」で該当する型式を選択して ENTER キーを押してください。「確認!!キーON、エンジン停止の状態に してください。」の表示を確認後に ENTER キーを押すと「イニシャライズ中・・・しばらくお待ちください」が表示され、 次に UD メインメニューが表示されます。



(次ページに続きます)

日立Astemoアフターマーケットジャパン株式会社



(次ページに続きます)

日立Astemoアフターマーケットジャパン株式会社

・PTOはOFFにしてください。

以下の場合、DPF再生は実行できません。 ・スス率が160%を超えている。 ・バッテリーの電圧が10V未満。

してください。

注意

・エンジンを暖気状態にしてください。
・自己診断で後処理システム関連の故障コードがないことを確認

ENTER:次へ EXIT:中止

【手順 04:DPF 再生の実行】

①「DPF 再生を実行します。」が表示されたら ENTER キーを押してください。「DPF 再生を開始します。しばらく

お待ちください。」が表示されます。



②「DPF 再生実行中」が表示されます。そのまま待機し「DPF 再生が正常に完了しました。」が表示されたら ENTER キーを押して終了です。(車両状態により 30~60 分ほど時間がかかります)

15:43 U D	ル √2.93 PF再生	Batt: 28.13 V	15:43	UD v2.93 Batt: 28.14 V DPF再生
			 DPF再生がJ	王常に完了しました。
エンジン回転数 排気温度(触媒コンバーター前 排気温度(触媒コンバーター後 排気温度(排気後) 吸気マニホールド圧 DPF差圧	: 1151 rpm (ij) : 290 ℃ (½) : 284 ℃ : 316 ℃ : 2.1 kPa : 0.3 kPa	-		
EXI	IT:中止		ENT	ER/EXIT:終了

14:34

【補足】

1.「エンジンが暖まっていません。」と表示された場合 手順 03 の③で完全に暖機していない状態で ENTER キーを 押すと右の画面が表示されます。 ENTER キーを押して中断し、エンジンの暖機を行ってから、 再度、手順 01 の③から操作を行ってください。

2.「エンジンが停止しています。」と表示された場合 手順 03 の③でエンジンが停止している状態で ENTER キーを 押すと右の画面が表示されます。 ENTER キーを押して中断し、エンジンを始動してから、 再度、手順 01 の③から操作を行ってください。



DPF再生

エンジンが暖まっていません。

エンジンを暖気してから再度実行してください。

EXIT: 戻る

(2025.3 発行)

Batt: 28.35 V

日立Astemoアフターマーケットジャパン株式会社